

業務の変革や 新たな価値の創造

基本的な考え方

阪神高速グループでは、変化が著しくニーズが多様化する現代社会において、サステナビリティ重要課題である「地球環境の保全」、「サステナブルなまちづくり」、「事業活動を支える経営基盤の強化」に着実に対応していくため、あらゆる業務の生産性の向上や高度化を図ります。

また、積極的な技術開発や、企業などが保有する技術力・ノウハウを生かして、新たな価値の創造を目指します。

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

DX理念

阪神高速グループは、データとデジタル技術の活用を通じて、業務の増大・高度化や社会環境の大きな変化に対応しながら、次の時代に相応しい道路資産、サービスおよび企業風土の構築を探索し、お客さまや現場を本位とした業務の変革や新たな価値の創造を実現します。

DX基本方針

DXの理念のもと、持続可能な環境と体制のもとで人材のマネジメントを確立しつつ、データとデジタル技術の真価を発揮させながら、あらゆる業務においてデジタル化を浸透させていくことで生産性を向上させ、ツール(システム基盤)とルール(プロセス)の革新により高度化を図り、『先進の道路サービスへ』を目指します。

戦略項目：先進の道路サービスへ
データとデジタル技術による新たな価値の創造(デジタルトランスフォーメーション)を実現します。
戦略項目：業務の高度化
ツール(システム基盤)とルール(プロセス)を革新し、業務の変革(デジタルイゼーション)を進めます。
戦略項目：業務の生産性向上
あらゆる業務においてデジタル化(デジタルイゼーション)を浸透させます。
戦略項目：データとデジタル技術の真価発揮
いつでもどこでも誰もが活用できるようデータのライフサイクル全般にわたるデータマネジメントの推進と、次世代型の概念・ハード・ソフト・サービスなどにより、データとデジタル技術の真の価値を発揮させます。
戦略項目：持続可能な環境と体制
役員社員一人ひとりにDXマインドを醸成し、デジタル情報を正しく理解・利用・活用できる人材を育成し、データとデジタル技術の利活用を推進できる体制を構築します。

